

北マリアナ諸島におけるインフルエンザ A 型(H1N1)の最新状況

北マリアナ諸島連邦政府保健省の発表によりますと 6 月 12 日現在、北マリアナ諸島では新型インフルエンザ A 型 (H1N1) の感染者はでておりません。

世界保健機関 (WHO) が新型インフルエンザの警戒レベルを最も高い「フェーズ 6」に引き上げましたが、北マリアナ諸島連邦政府では引き続き健康注意情報を発生し住民の注意喚起を行うとともに、空港での入国審査終了後、世界保健機構 (WHO)、米国疫病対策センター (CDC) からの情報協力をもとに北マリアナ諸島連邦保健省が作成した新インフルエンザの注意事項と発熱などの症状がある場合の連絡先を明記した案内書を配布、ヘルスデスクを設置し保健省のスタッフが入国時の問診を行っていくなど、防止対策を実施して行くとともに、今後は発症者が出た場合の対処方法などを強化して参ります。

北マリアナ諸島では、引き続き通常どおり、安心してご訪問を楽しんで頂いております。皆様のお越しを島民一同、心より歓迎致します。